高取神社と那須与一を訪ねるPW

前回は晴天に恵まれ、それに少ない歩数で織田氏の足取りを辿った素晴らしい企画でした。今回は以前、紅葉を訪ねて、湖東三山を考えていましたが、調べて見ると、交通の便が悪く、行はタクシーでも構いませんが、帰りが難しくなってしまうため、断念に至りました。そこで、今回は、アクセスの良い場所を選び、六甲山の高取山を南北に横断するものとし、那須与一に関係する場所も訪れる企画としました。前回と同様、晴天に恵まれることを期待しつつ、年末を飾る素晴らしいPWとしたいものです。また、新長田駅近くで、高村さんが推薦頂いたお店で、軽く食事をしながら、忘年会を祝いたいと思います。

【日程】

12/7(月)、/8(火)、/9(水)

‥‥何れかの参加可能な日程と参加できない日程をご連絡下さい。

【集合場所と時間】

〇集合場所：　ＪＲ新長田駅、改札出口（２Ｆ）付近

〇集合時間：　１０：３０　バス時刻は１０：４２なので間違いなくお越しください。

次のバス時刻は１１：１９までありません。



ＪＲ新長田駅



【コース】

ＪＲ新長田駅･･･新長田バス停＝（神戸市バス230円）＝藪中バス停･･･妙法寺･･･高取山・高取神宮（ここで昼食タイム）･･･萩の寺・那須神社･･･那須与一の墓･･･那須神社前バス停＝（神戸市バス230円）＝ＪＲ新長田駅･･･「えびす」　《企画　高村(15期)・井上（16期)、　HP掲示担当　加藤(11期)》

注記）〇新長田駅の鉄人２８号を見学される方は、ＪＲ新長田駅の南西230mに若松公園があり、その中に展示されています。集合前に各自で見学して下さい。

〇那須神社前バス停で解散します。高速神戸・阪急／阪神で帰宅される方は「大道通（おおみちどおり）１丁目バス停」で下車して下さい。

〇昼食は各自持参願います。久しぶりの山道です。靴はズックでも良いと思いますが、登山靴が安全かも知れません。


若松公園付近
松野通
新長田
国鉄沿長田須磨線
228.64 m
3丁目
3丁目
若松町
5丁目
1丁目
KOKO HOTEL
神戸新長田
若松公園
国鉄沿長田須磨線
JR神戸線
4丁目
9683
6丁目
大橋町
神戸市立駒ケ林中学校
洋食ジャンボ
7丁目


高取神社付近
飛龍寺霊園
飛龍寺 夢想庵
飛龍寺に続く分岐
神戸ひかりの森
安井茶屋
月見茶屋
公衆トイレ
公園
高取山
高取山頂
神馬像
高取神社
瓜谷亀吉記念碑
高取神社 大灯籠


妙法寺付近
五社神社
石造宝篋印塔
毘沙門山
真言宗 如意山妙法寺
寺ノ界地
サイプレス妙法寺
妙法寺
小学校前
まつお歯科医院
パルデンス妙法寺
パルデンス中谷
プレジール妙法寺
キティ保育園
子安地蔵尊
神戸市立 妙法寺児童館



5 系統

新長田駅前方面行き／若草町方面行き

那須神社前
ナスジンジャマエ

新長田駅前方面行き

13時	09 29 44 59
14時	14 34 49
15時	04 19 39 54
16時	11 25 45
17時	00 16 30 50
18時	05 20 35 51

【「えびす」新長田ピフレ店】









那須与一について

源頼朝に仕えていたとされる平安時代末期の武将・御家人。那須氏二代当主、宗隆（相続後、資隆）とされる。1966～1169年、那須資隆の子として誕生。誕生地は那須氏の居城神田城（現在の栃木県那須郡那珂川町）と推測される。義経軍に従軍、元暦2年（1185年）の屋島の戦いで、平氏方の軍船に掲げられた扇の的を射落とすなど功績を挙げ、頼朝より5カ国に荘園を賜わる。為隆を除く9人の兄達は、平氏に味方したため、与一が十一男ながら家督を継ぐ。各地に逃亡していた兄達を赦免し、与一が領土を分け与えので、那須氏は下野国に勢力を気付いた。ただ、『吾妻鏡』によれば、屋島の戦いで那須与一の名前や「扇の的」に関し、一切記述なく、琵琶法師らによる作り話との説もある。

扇の的を射た功名か否かは不明だが、荘園のうち1つに備中荏原荘がある。源氏方に扇の的を差し出した平家方の女官、玉虫御前（鬼山御前）は、平家の落人が逃れたとされる肥後国五家荘の手前に移り住んだと伝わる。五家荘の伝承によるとその後、平家一族の追討にきた那須与一の嫡男の小太郎と玉虫御前は同地で共に暮らしたとのこと。

与一の墓所は、京都府京都市の即成院とされ、兄・資之が功照院という寺を建立し、分骨を埋葬したという。永正11年（1514年）、一度廃寺になったが、天正18年（1590年）、那須資景が那須氏の菩提寺・玄性寺（栃木県大田原市）として再建し、那須氏では、こちらを本墓としている。兵庫県神戸市須磨区の碧雲寺宗照院には、那須與一宗高公御墓所という与一の墓とされるものがある。この墓に参詣すると、老後、下の世話にならないとの言い伝えがある。また近くには与一が信仰したとされる北向八幡神社と、地元の人々が与一を祀った那須神社がある。

神戸の与一伝説によれば、与一は３４歳で出家、源平合戦で亡くなった武士を弔う旅に出た。その道中、「中風」を患い、ここ妙法寺地区で病床に伏した。村人の懸命な手当てもむなしく、息を引き取ったという。半身不随の与一を、シモの世話まで村人が行った。臨終を見届けた者が最期の姿を各地に伝え、「村民らが自分と同じにならないように、との思い」を人々に言い伝え、「下の世話にならない様に」との願いが込められるようになったのではと伝わる。

高取神社と那須与一を訪ねるPW



六甲縦走トレイルランのコース

このコースは毎年３月頃、須磨から宝塚迄を走るコースです。現在応募中ですので、参加される方は応募しては如何ですか。
私の会社の１０歳上の先輩は３０歳代に３時間３０分の記録を持っているとの事です。わたしは宝塚から有馬を歩いた折り、トレイルランの方と出会ったことがあります。このコースをほんの一部だけですが、歩きたいと思います。

